

# 気候変動影響や適応策に関する意見交換

(テーマに即したタイトル)

例:気候変動の影響と適応について

---

注:本資料は、大阪府で2024年10月に実施されたワークショップ  
(主催:大阪府、運営:おおさか気候変動適応センター)資料を一部改変して作成したものです

## ワークショップの目的

本日のセミナーは

身近で起こっている気候変動の影響やその適応策について理解を深め、様々な部局において取り組むことができる適応策や部局間での連携について検討し、各自治体で今後実施する施策の参考としていただくこと

を目的に実施します。

## プログラム

時間(例)	内容
13:00	開場
13:00-13:30	受付
13:30-13:40	開会挨拶・趣旨説明
13:40-14:10	講演「迫りくる気候危機に求められる適応策」 ○○ ○○○○氏
14:10-14:30	市町村における気候変動適応に関する事例紹介① ○○市 ○○○○氏
14:30-14:50	市町村における気候変動適応に関する事例紹介② ○○市 ○○○○氏
14:50-15:00	休憩、机移動
15:00-15:45	気候変動影響カードを用いて具体的な適応策について意見交換する
15:45-16:00	各グループからの発表
16:00-16:05	講評
16:05	閉会、アンケート記入

# 意見交換の流れ（４５分間）

## 1. グループに分かれて着席

- 配布の「机配置・グループ分け表」に従い、長机を移動して島を作りグループごとに分かれて着席します。
- お互いに簡単に挨拶したのち、記録係（意見交換の内容を模造紙に整理しながら書く）と発表係（意見交換後に全体に向けてグループの成果を数分で口頭発表する）を1名ずつ決めてください。

## 2. 「気候変動による影響カード」を選ぶ

- 3分野（健康、自然災害、県民生活・都市生活）それぞれ3枚、合計9枚の影響カードから、各グループで話し合いながら分野ごとに1枚、3分野で3枚を選択します。

## 3. 影響に対する適応策について意見交換する

- ひとつの影響に対して、今実施できる適応策、今後実施すべき適応策を中心に考え、グループ内で意見交換します（3回繰り返します）。
- 不明点が生じた場合は、ファシリテーターや専門家（講演があった場合は講師）などにも積極的に質問するとよいでしょう。
- 記録係は意見交換内で出たコメントを模造紙の各記入項目に書き入れていきます。ポイントとなる部分は赤字にしたり赤線を引くなどするとよいでしょう。

## 気候変動による影響カード

※この「影響カード」は、事前のアンケート結果で業務を行う際に重要だと多くの回答をいただいた「健康」、「自然災害」、「県民生活・都市生活」の3分野に関するものを、それぞれ3枚ずつ計9枚用意した。様々な部局の観点から検討してもらえるよう、内容は身近で一般的な気候変動の影響事例を記載した。

### 【健康】

熱中症により高齢者の  
救急搬送人員が  
増加している

### 【健康】

運動会で  
熱中症になる人が  
増加している

### 【健康】

暑い時間帯における  
屋外での労働が  
困難になっている

### 【自然災害】

台風により  
高潮が発生する  
危険性が  
高まっている

### 【自然災害】

大雨により  
ライフラインが  
寸断される危険性が  
高まっている

### 【自然災害】

ゲリラ豪雨により  
土砂災害が  
発生する危険性が  
高まっている

### 【県民生活】

食料品の価格高騰や  
店舗での在庫不足が  
頻発している

### 【県民生活】

サクラの開花日が  
早くなり  
紅葉の時期が  
遅くなっている

### 【県民生活】



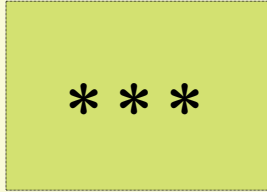
大雨や台風により  
交通機関の乱れや  
休校が  
頻発している

# 気候変動の影響やその適応策について(意見交換)

※本スライドの内容(作業方法／枠／項目)を予め模造紙に印刷しておき、当日各グループに配布できるとよいでしょう。※油性ペン(太字)でなるべく大きめフォントで書き込むと、発表時にも見やすくなりよいでしょう(インクの裏写りにはご注意ください) ※オンラインの場合は、記録係が本スライドを画面共有しながら実施します。

## 【作業】

- ①気候変動の「影響」カードから、色の違うカードを3枚選ぶ。※グループメンバーの業務内容や各自治体で課題となっている話題のカードを選ぶようにして下さい。
- ②①で選んだ「影響」カードに対し、自身の部局で実施できるもの/今後すべきものを中心に適応策を考え、対象別(誰に対して行う適応策か)に整理して書き出す。市町村間で情報交換しながら実施する。他部局との連携が必要な内容についても検討できるとよい。
- ③②で考えた適応策に対し、各部局で行う上での問題点や、他部局と連携する場合の課題点などを書き出す。

①気候変動の「影響」 (今起きていること、 今後起きうること) ※影響カード貼付	②気候変動への「適応策」 (今取り組むべきこと、今後事前に取り組むべきこと)			③課題点
	市民(高齢者、子ども など)	事業者	その他(具体的に 記載)	
	*****、 *****	*****、 *****	*****、 *****	*****、 *****
	*****、 *****	*****、 *****		*****、 *****
	*****、 *****		*****、 *****	*****、 *****
	*****、 *****		*****、 *****	*****、 *****

## 各グループからの発表（15分間）

※発表時間はグループ数により適切に設定します。  
※時間に余裕がある場合はいくつか質問も受け付けるとよいでしょう。

### 各グループから発表

- 模造紙を会場の参加者が見えやすいように、ホワイトボード等に貼り付けます。
- 意見交換でまとめた適応策やその課題点、所感について各グループから発表します。発表時間は〇〇分間です。

※研修全体としてさらに時間を確保できる場合は、プログラムとして「個人ワーク」を実施できるとよいでしょう。  
あるいは、各自研修後に実施するやり方もあります。

「個人ワーク：今後実施すべき適応策とその課題について」

- ①自身の自治体で問題となっている気候変動の影響は？
- ②①の影響に対して、現在実施している適応策は？
- ③今後実施すべきだと考える適応策は？
- ④③で考えた適応策を実施するにあたり、必要なもの（啓発や広報の方法、連携体制等）や課題点は？